



# とくぼんと考える徳島大学

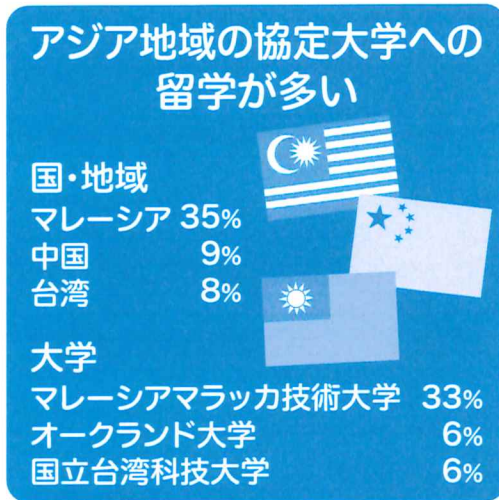
## 授業改善版 vol.3

### 教育の質 保証支援室

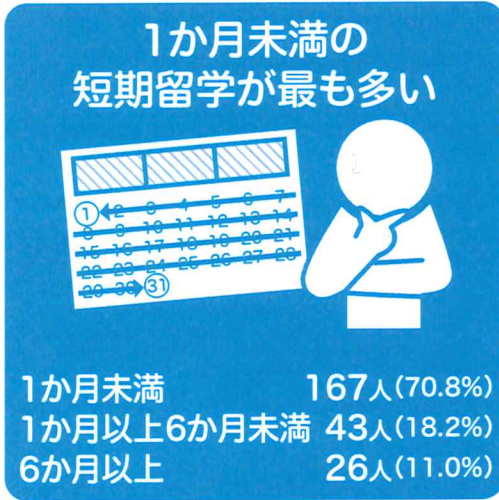
大学の教育改革を進めるための第一歩は、現状を正しく把握することです。  
徳島大学における学生のデータを活用して授業やカリキュラムの改善につなげていきましょう。



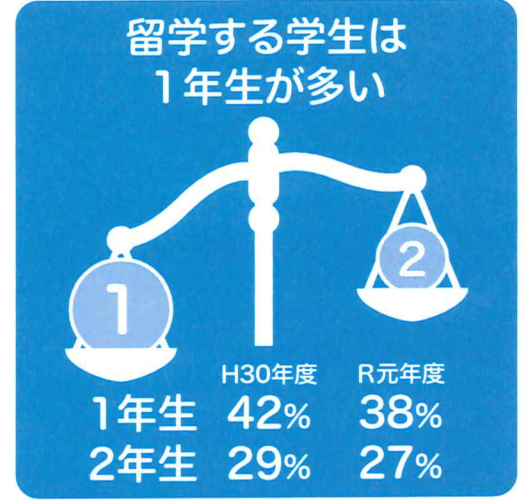
日本人学生の留学



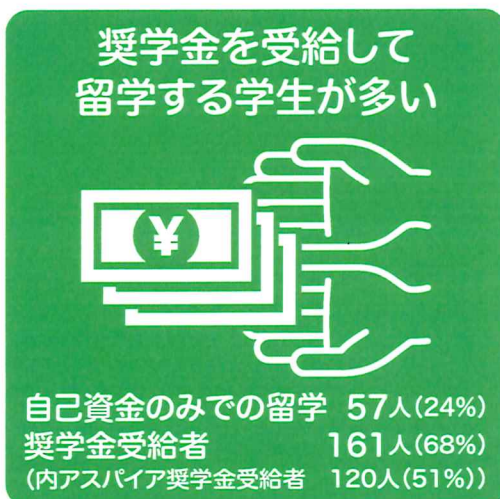
留学先(令和元年度)



留学期間(令和元年度)



留学した日本人学生のうちの割合

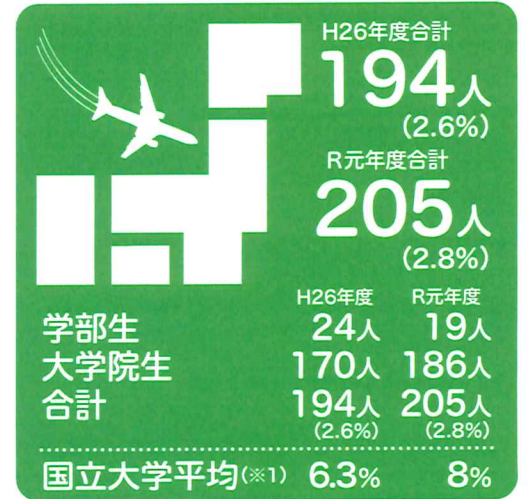


留学費用(令和元年度)

国立大学協会は、社会や産業界の急速な国際化の動きの中で、平成25年に「国立大学における教育の国際化のさらなる推進について」を公表しました。これは、国立大学が強化すべき機能として、平成23年度に掲げていた「積極的な国際交流と国際貢献活動の推進」を具体化するためのもので、国際化に関する国立大学の強み・特色を充実させ、様々な取組を推進し、国立大学全体で積極的に「大学の国際化」に取り組むとされたものです。

そのため、国立大学が社会に果たすべき役割の一つとして「国際的に活躍する人材の輩出」を掲げ、将来、学生自身がグローバル化の中で能力を発揮しうようするための重要な使命と位置付けています。

今回の「とくぼんと考える徳島大学」では、「大学の国際化」をテーマに、本学の現状を確認しました。



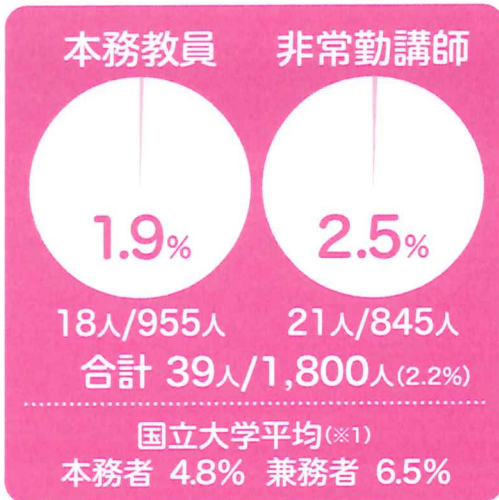
外国人留学生の受入



学術交流協定締結校



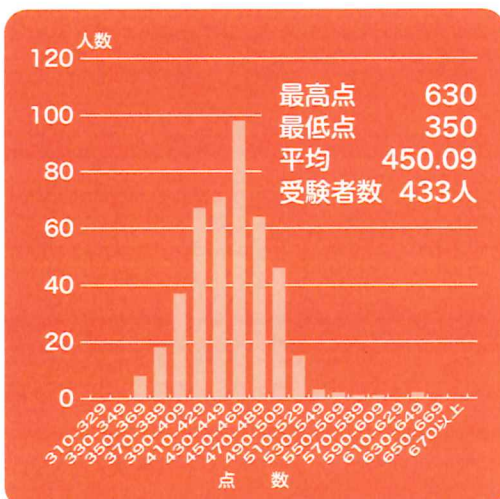
英語で行う授業科目の数(平成28年度)



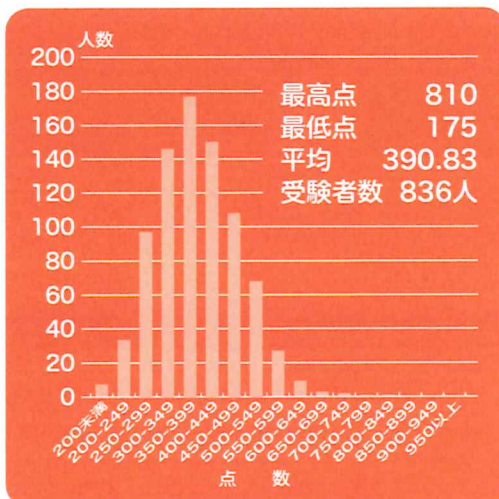
外国人教員の数(令和元年5月現在)



国際交流イベントへの参加者(令和元年度)



TOEFL-ITP得点分布(令和元年度1年生)



TOEIC-IP得点分布(令和元年度1年生)



学生が学びたい英語のレベル(※2)



学生が身に付けたい英語力(※2)

## テーマ 大学の国際化

「とくぼんと考える徳島大学」は、教学データを収集・分析することにより、徳島大学の現状を把握し、結果を本学の教育の改善・改革に生かすことを目的としています。

### データ情報

学務部各課保存情報による。

※1 国立大学における教育の国際化のさらなる推進について(国立大学協会第7回フォローアップ調査)

※2 英語学習に関するワークショップの活性化に向けたアンケート(正課外における英語学習支援について考えるWG:令和元年11月実施 対象:1・2年生 回答率:42%)

<発行> 令和2年12月1日

<制作> 徳島大学高等教育研究センター  
教育の質保証支援室

<お問い合わせ> 088-656-9980(内線:82-7123)  
<合わせ> E-mail kykikakuk@tokushima-u.ac.jp